

かがやくすばる

名古屋市立自由ヶ丘小学校
通級指導教室通信
第5号 令和4年2月14日発行

3学期は、次の学年に向けて今までの学習を振り返ったり、気持ちを高めたりする大事な時期です。今年度もあと少しですが、不安なく次の学年が迎えられるように、「すばる」でも心構えをつくっていきたいと思います。

すばるの授業紹介

今回は、『字をきれいに書く』ことについて、「すばる」の時間に心掛けていることをお伝えします。

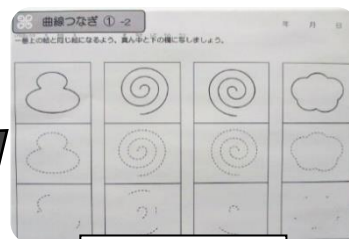
字をきれいに書くことができるようになるための方法の中に、ひたすら文字を書き続ける練習方法があると思います。確かに書く量は必要になりますし、その方法が効果的な子もいるでしょう。しかし、その子が苦手としているつまずきの“根”を知り、それに合った方法でないと、ただ苦痛と感じるだけで思うような成果が表れないことがあります。「すばる」では、そのつまずきの“根”を探り、例えば、以下のような支援をしています。

つまずきの“根”

具体的な支援

位置関係を認知すること
(文字同士が重なる・文字が偏るなど)

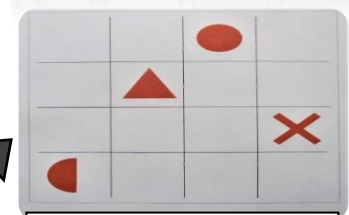
- ・簡単な図形を書き写す練習をして、上下左右の間隔をつかませる。
- ・文字を書くときには、マス目のあるものを用いて、書く場所を明確にする。



「曲線つなぎ」

一時的に記憶すること
(短期記憶)

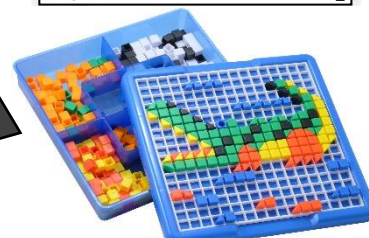
- ・見本を手元に置いて、何度も確認することができるようにする。
- ・短気記憶力を高める。



「図形はどこだった？」

手や指先を使うこと
(鉛筆を握って持つ・手や指を動かすなど)

- ・手先の動きがスムーズになるように、手や指先を動かす練習を行う。
- ・大きな紙に大きな字を書くことで、線を書く手の動きや指先の力加減をつかむことができるようにする。



「ブロックアート」

字を書くことはほぼ毎日行う活動です。字がきれいに書くことができるようになると、気持ちよく学習することができたり、意欲的に学習することができるようになっていきます。何より、目に見える成長を、本人が実感しやすく、周りの人も気づきやすいため、自信につながると思います。今後も、子どもたちが自信をもって学習することができるように、適した支援をしていきます。